

Course number	U-LAS70 10001 SJ50				
Course title (and course title in English)	ILASセミナー：福島県での震災復興支援研究 ILAS Seminar :Collaborative Research in Fukushima Prefecture from 2011	Instructor's name, job title, and department of affiliation	Research Institute for Sustainable Humanosphere Assistant Professor, UEDA YOSHIKATSU		
Group	Seminars in Liberal Arts and Sciences	Number of credits	2	Hours	30
Class style	seminar (Face-to-face course)	Year/semesters	2025・Intensive, First semester	Quota (Freshman)	6 (6)
Target year	Mainly 1st year students	Eligible students	For all majors	Days and periods	Intensive 3 days between August thru September
Classroom	Main bldg. S-148 (Uji Campus)			Language of instruction	Japanese
Keyword	東日本大震災 / 環境放射能 / 産学連携 / 学際研究				
[Overview and purpose of the course]					
<p>2011年3月に発生した東日本大震災における福島県での復興支援研究の事例や、ここ最近頻発する国内外の災害に対し、特に研究者がどのように支援しているかについて紹介する。東日本大震災については、実際に計測に使用した現地サンプルなどを紹介し、実習も行いながら、分野にとらわれない連携研究の可能性と、総合大学としての京都大学の役割について討論する。また、現在もしくは将来的に発生するであろう自然・人工的な災害に対して、どのような対応がとれるのか、短期集中的にディスカッションを行う。</p> <p>ディスカッションの際には、多分野の教員や学生を含めての超分野大喜利形式にて行い、それぞれの思考・アイデアを視覚化し、方向性を定めていく。</p> <p>理系・文系にとらわれず、各個人が専攻する専門分野の役割を考えながら、より多くの情報を集め、多分野と連携する事で、より幅広い災害復興支援の可能性について議論を行いたい。</p>					
[Course objectives]					
<p>様々な研究者が、研究分野に関係なく連携した災支援研究を行い、大学・企業が一緒になって現地で活動してきている。本セミナーでは、これらの実際の現場での活動で用いた実際の実験・計測体験を通して、今後各自の専門分野の役割を見直し、将来、大学で学んだ事を活かすためにどのようにすれば良いか、考えていくきっかけにしてほしい。</p>					
[Course schedule and contents]					
<p>京都大学宇治キャンパスにおいて、福島県での復興支援研究で用いた実験設備見学なども行うため、4日間の集中講義形式で行う。実施時期は9月中旬～下旬を予定している。事前学習としては、放射線計測に関する基礎的な知識を、公益財団法人 放射線計測協会のホームページなどで確認しておくことが望ましい。</p> <p>第1日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生存圏研究所見学 ・生存圏未来開拓研究センターの紹介 					
<div style="text-align: right;">Continue to ILASセミナー：福島県での震災復興支援研究(2)</div>					

ILASセミナー：福島県での震災復興支援研究(2)

- ・参加者の研究背景について自己紹介形式で発表

第2日)

- ・東日本大震災の概要と、福島県における原発事故について
- ・現在行われている福島県での連携支援研究（計測機器を用いた実習）
- ・海外での活動事例紹介

第3日)

- ・福島県における環境放射能と、除染活動（計測実習：放射線）
- ・将来起こりうる連携支援研究の可能性についての議論
- ・各自の専門分野が持つ役割についての紹介

第4日)

- ・専門分野が持つ役割と、その可能性についての議論
- ・グループディスカッションによる連携研究の可能性の検討（超分野大喜利形式による）
- ・全体のまとめ

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

出席と参加の状況（3回 各10点）、討論への積極的な参加（10点）、レポート（3回、各20点）により評価する。

[Textbooks]

資料についてはその都度電子ファイル、もしくは印刷媒体として配布する。

[References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

放射線計測の一般的な知識について、事前予習しておくことが望ましい。

尚、KULASISやPandA等により事前に授業について連絡する。

超分野大喜利については下記URLを参照のこと。

<https://research.kyoto-u.ac.jp/gp/g064/>

[Other information (office hours, etc.)]

採点成績については、10月以降に報告する。

[Essential courses]